



独立行政法人国立病院機構 災害医療センター

初期研修プログラム
～駆け抜ける「特別な2年間」～



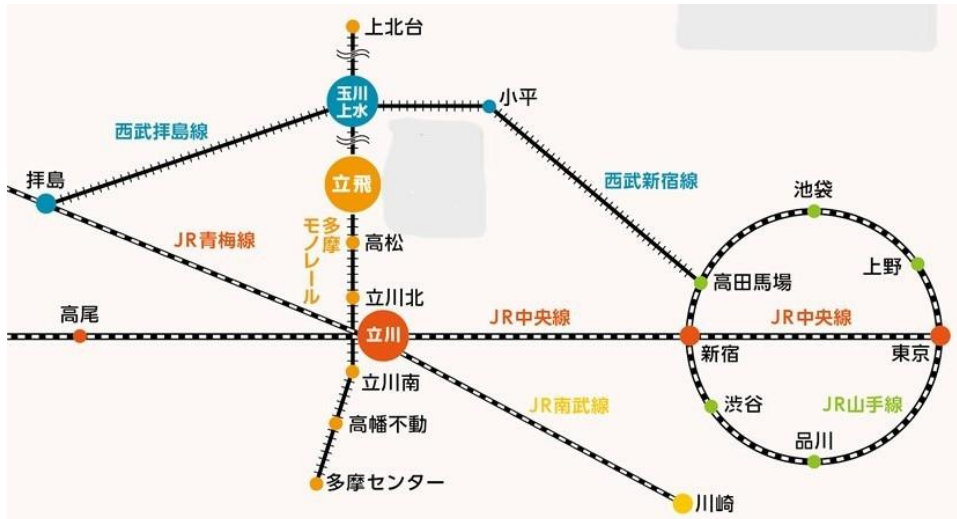
立地・アクセス



所在地：東京都立川市

東京都のほぼ中央に位置している。

- 人口：約17万9000人
- 主要路線：JR中央線・青梅線・南武線、多摩都市モノレール
- 新宿駅まで中央線で最短27分
- 川崎駅まで南武線で約1時間



それぞれ乗り換えなしで都心と
神奈川方面にアクセス可能！

周辺環境



病院の南側には**国営昭和記念公園**があり、広大な自然が広がっています！また**らぽーと**、**IKEA**など商業施設も充実しています。

利便性やにぎわいといった都市の魅力と、潤いややすらぎのある生活環境が、バランスよく共生している街です!!

病院の全景



2カ所あるヘリポート！

病院の概要

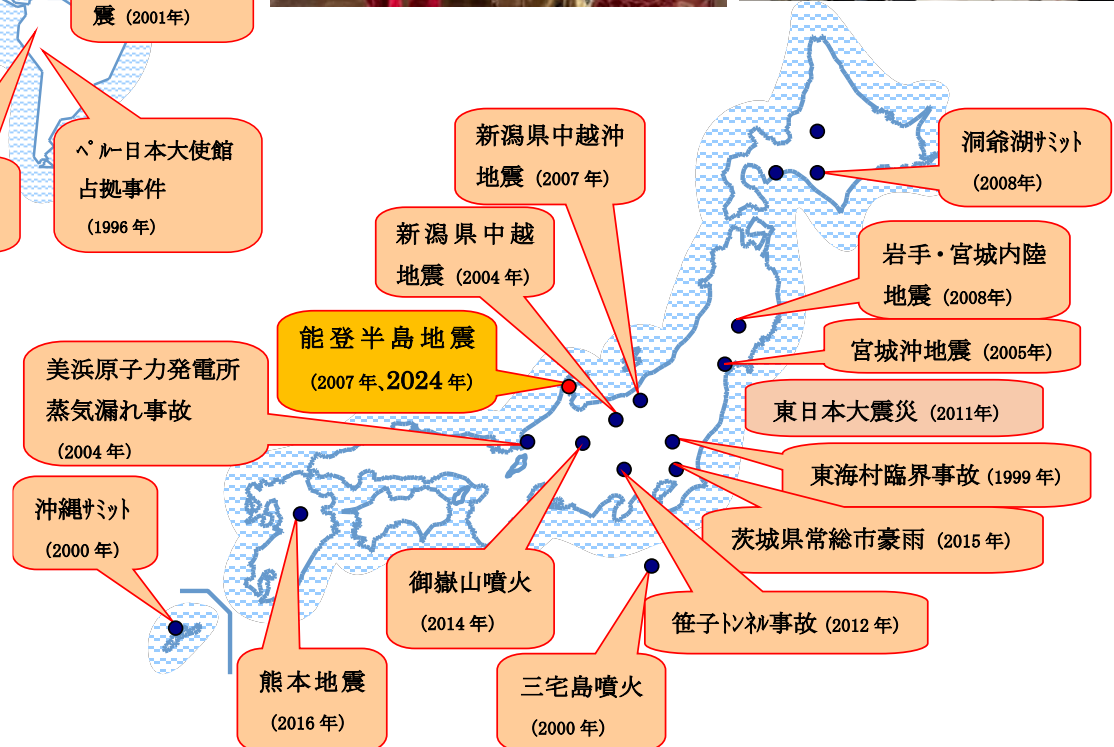
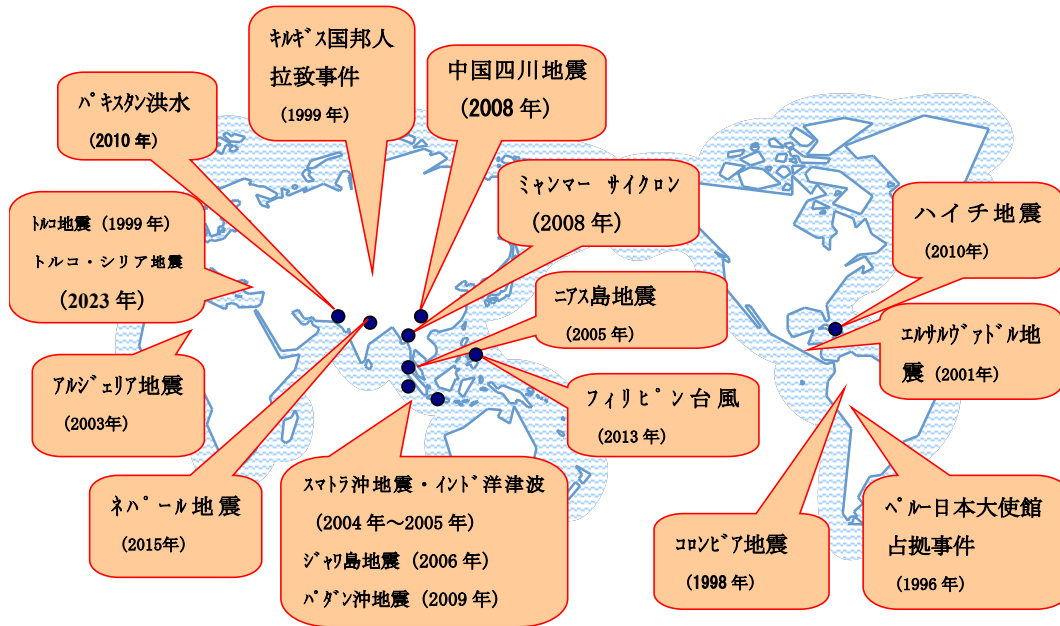
- ・災害医療センターは国立病院機構(NHO)に属します
- ・NHOは**140**の病院を有する日本最大の病院ネットワークです!!!
- ・北多摩西部地区唯一の3次救急指定病院
- ・広域基幹災害拠点病院としてDMATを有する

➤ 病床数 455床 **災害時には900床に増床!**

➤ 令和7年度実績

- ・救急患者数 8,278人/年
- ・救急車搬送者数 7,233人/年
- ・心肺停止状態搬送者数 318人/年
- ・入院患者数 11,828人/年
- ・外来患者数 9,412人/年

基幹災害拠点病院としての働き①



国内外問わず災害派遣を行っている。最近では能登半島地震で活動。災害発生後は速やかに災害本部が立ち上げられ、災害派遣活動を行う。院内にDMAT事務局を有しているのも特徴の一つ。

基幹災害拠点病院としての働き②

災害訓練も大きなイベントです！



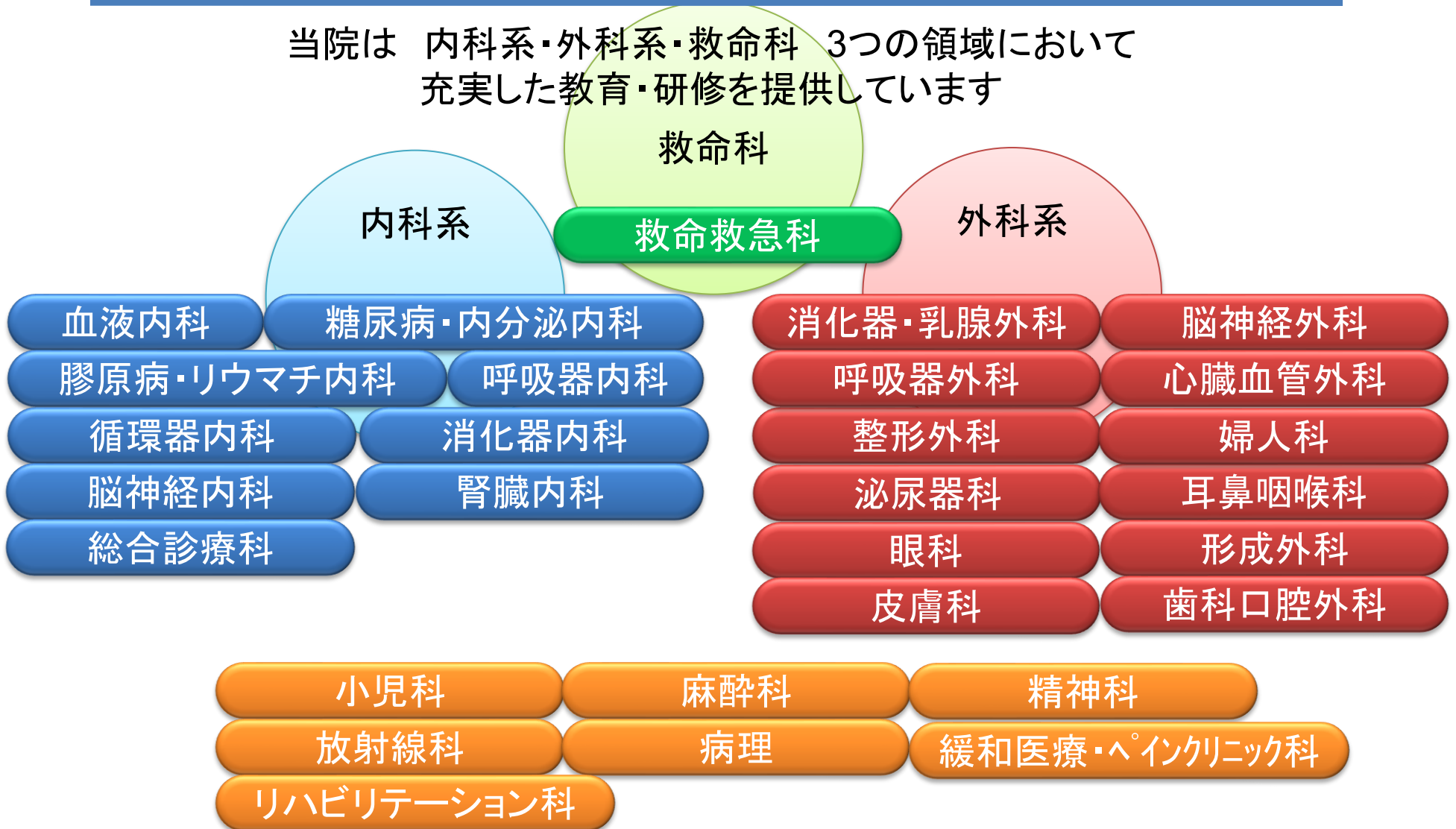
年に2回、周辺の消防隊や自衛隊を巻き込んで病院を挙げて行われます



前回の災害訓練では、研修医は初療での訓練を行いました。実際の災害さながらにみんな真剣に取り組みました！

診療科

当院は 内科系・外科系・救命科 3つの領域において
充実した教育・研修を提供しています





研修プログラム

1年目

内科 30週								外科 10週			救命救急科 8週
循環器内科 4週	呼吸器内科 4週	消化器内科 4週	腎臓内科 4週	血液内科 4週	脳神経内科 4週	糖尿病・ 内分泌 内科 3週	膠原病リ ウマチ科 3週	一般外科 4週	脳神経 外科 3週	(整形・形 成・泌尿 器・呼吸 器)のうち 1科 3週	

2年目

麻酔科 6週	救命 救急科 4週	精神科 院外4週	産婦人科 院内2週 院外2週	小児科 院内2週 院外2週	地域医療 4週	総合診 療科 2週	保健所 (選択) 2週	選択 18~20週
-----------	-----------------	-------------	----------------------	---------------------	------------	-----------------	-------------------	--------------

研修の特徴①

数多くの症例が学べる！

- 1年目に**すべての内科をローテーション**することができる！
- **プライマリケア**も学べる！
- **commonな疾患**から**稀な疾患**まで経験することができる！
- 稀な疾患は**症例報告**する価値あり!!

研修の特徴②

救命救急科の研修

- **2年間を通して救命当直**があり、通年で2次・3次救急の経験を積むことができる！
- 症例も多く、重症度に関わらず**初期対応**が学べる！
- 特に交通外傷など普段の診療では出会えない症例も数多く経験できる！
- **研修医だけの当直業務ではない**ため、上級医の指導のもとで適切な処置や専門医へのコンサルトの必要性などのトリアージを学べ、その場で**効果的にフィードバック**される！

研修の特徴③

がん診療が学べる！

- 地域がん診療連携拠点病院です。
- 様々な領域のがん診療を経験できます。
- 終末期の患者さんの治療を通じて、緩和医療疼痛コントロールなどのターミナルケアも学ぶことができます。

研修の様子



手技研修会



オリエンテーション採血実習
採血手技を学ぶ



CV研修
中心静脈カテーテルを入れる手技を学ぶ



縫合研修
縫合の手技を学ぶ



オリエンテーション実習
心肺蘇生を学ぶ

研修医勉強会



企画の主体は研修医

自分が学びたいことを
テーマに知識を深める

オブザーバーとして
適宜指導医が参加



研修医が顔を合わせる
大事な時間でもある。

Clinico-pathological conference (CPC)



臨床医・病理医による剖検例の病態解明

1年間に12回開催されます。
指導医の指導による資料準備と、
病理の先生(2名勤務)とのdiscussionにより
確実な知識の習得が可能です。



学会発表・論文作成

2年間で必ず**学会発表**
の機会あり！
アカデミックな活動の
支援をします！

2013年 研修医 宮原先生
2016年 研修医 飯島先生
英文論文が発刊されました！

INTERNAL  MEDICINE

□ CASE REPORT □

Gamma Heavy Chain Disease with T-cell Large Granular Lymphocytic Leukemia: A Case Report and Review of the Literature

Masahide Iijima¹, Naohiro Sekiguchi¹, Akihisa Nagata¹, Miyuki Wagatsuma², Kiyoe Midorikawa², Miwa Kurimoto¹, Satoshi Noto¹, Kazuaki Yamada² and Naoki Takezako¹

Abstract

Gamma heavy chain disease (gHCD) is a rare lymphoproliferative disorder characterized by the production of a truncated immunoglobulin heavy chain. Although some cases of gHCD are concurrent with other lymphoid neoplasms, few have been reported. We herein present the case of a 73-year-old woman with gHCD and T-cell large granular lymphocytic leukemia. A multiparameter flow cytometry analysis revealed neoplastic cells that were positive for CD28, a marker of T-cell activation, the anti-apoptotic antigen of neoplastic plasma cells, CD38 and CD45. The results of this multiparameter flow cytometry analysis may contribute to furthering the understanding of the clinicopathological features of gHCD.

Key words: gamma heavy chain disease, T-cell large granular lymphocytic leukemia, composite lymphoid malignancy, multiparameter flow cytometry analysis

(Intern Med 55: 399-403, 2016)

(DOI: 10.2169/internalmedicine.55.5042)

研修修了発表会

令和7年度
初期臨床研修修了発表会

令和8年2月27日(金) 17:30~

令和8年3月2日(月) 17:30~

令和8年3月6日(金) 17:30~

災害医療センター4階 地域医療研修センター

令和7年度

- 1 両肺の浸潤影・粒状影を呈したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対し、積極的な組織生検で診断を行えた一例
- 2 脳血管攣縮予防薬Clazosentanによるくも膜下出血術後管理
- 3 三叉神経障害を呈し、MRIで発症後早期の進行経過を捉えた神経梅毒の1例
- 4 脳血流SPECTにおいてmixed perfusion patternを呈した橋本脳症の1例
- 5 急性胆嚢炎を契機に診断に至った腺扁平上皮癌の一例
- 6 腹腔動脈解離と診断後、急激な循環不全に至った衝心脚気の1例
- 7 悪性疾患との鑑別に苦慮したCotyledonoid dissecting leiomyomaの1例
- 8 外傷を契機に発症したMild encephalitis/encephalopathywith a reversible splenic lesionの一例
- 9 鍼灸治療中における大腰筋内への折鍼迷入と、体内遊走を経て摘出に至った一例
- 10 小児上腕骨顆上骨折術後に緑膿菌による骨髓炎に至った1例
- 11 若年発症の完全房室ブロックを契機に筋強直性ジストロフィー1型の診断に至った1例
- 12 発症約12時間で症状完成した超急性経過のギラン・バレー症候群の一例



初期研修医 処遇

- 待遇

期間医師

- 給与

一年次 315,784円/月 + 時間外手当

二年次 315,784円/月 + 時間外手当

※別途、実績に応じて他諸手当あり

研修生活環境

- 宿舎 2010年リフォームされ快適な住空間
- 宿舎費 7400円/月(管理費込)
1K・ユニットバス付・ベッド備



部屋全体
扉を開けると・・・
このようにコンパクトな作り！



机まわり
机・椅子完備
机の上にベッドがあり、
二段ベッドのよう！



UB
バス・トイレ別ではないが、意外と慣れる！



キッチン
一口IHで安全。
収納棚もあって便利！

研修病院としてのアピールポイント

- 良好な立地
- 充実した研修プログラム
- 一次救急から三次救急まで豊富な症例
 - 二年間で救命当直100回、内科当直50回
 - プライマリケアからインテシブケアまで
- バランスのとれた研修
 - On the Job Trainingとして多くの手技が学べる
 - 勉強会なども充実
- 合理的な官舎と給料

初期研修医の募集と選抜方法

- 書類審査（履歴書、CBT）
- 幹部および医長による面接試験

研修医はマッチングプログラムによって採用決定

- 応募締切日：7月下旬
- 選 抜 日：8月中旬

※日程についての詳細は当院ホームページをご確認ください。

病院見学について

- 見学の申込みは随時受け付けています。
 - 所定の申込用紙をHPからダウンロードし、必要事項を記載した上でメールでお申込みください。
 - 担当者が診療科と調整を行い、後日メール連絡があります。

※病院見学の詳細についてはホームページをご確認ください。

まずは一度、当院の雰囲気を感じてみませんか？
見学、お待ちしております!!



独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター



当院で私たちと一緒に充実した研修生活を送りませんか！